

防災の日「防災講演会」実施報告

東日本大震災後の防災の日(9月1日)に高まる防災意識を実践的にするため、東日本大震災に学ぶ組織防衛に知識・技能を習得することを目的に開催した

◆平成23年9月2日(金)13:30~16:15

◆愛知県共済会館 8階 大会議室

次の大震災に備える

“3・11東日本大震災の教訓から学ぶこと”

<参加者>21生協24名、県行政1名、連合会3名 計28名
かりや愛知中央2名、アイアイ1名、トヨタ1名、オークマ1名
愛知県職員1名、愛知県警察職員1名、あいち2名、一宮1名、北医療1名
愛知県労働者共済1名、愛知県共済1名、名古屋市民火災共済1名
みなと医療1名、南医療1名、コープあいち1名、東海コープ事業連合2名
大学生協東海事業連合1名、名古屋大学1名、名古屋市立大学1名
住友ゴム工業名古屋1名、愛知県県民生活部1名

<報告> 東日本大震災 被災地支援

東海コープ事業連合
コンプライアンス推進G次長
高柳 真宏氏

- ①物資手配
- ②みやぎ生協の「お見舞い活動」支援

あいち生協
コンプライアンス室室長
大野 充洋氏

- ①アイコープみやぎへの支援物資搬送
- ②七ヶ浜町への組合員支援物資提供

<報告> 東日本大震災 被災地支援

トヨタ生協
総務人事部総務広報室室長
野村 正弘氏

- ①被災地職域組合員への物資支援
- ②みやぎ生協への灯油・軽油支援

コープあいち
人事総務部部長
伊藤 勝久氏

- ①コープみやぎ
共同購入再開支援
- ②コープふくしま店舗支援等

◆受援計画

経営資源喪失に対処する、救援を受ける計画(何をどのように助けてもらう)

他者の支援で、自社は重要項目に集中する・
自分が全て実施する必要はない、全国の生協へ依頼することも 考えておく。
支援計画も必要

◆多段的防御の安全哲学

発生確率の低いものは想定不要とする線引きをしない(過去の高さ以上の津波)
安全哲学も線引きで委縮してしまい、同時被災などを想定しづらくなる
リスクコミュニケーションは起きてからしらせる(水素爆発・放射能拡散)後だしは不信感を増長するだけ